



No.6

2008年 6月 1日発行

水辺のひび



(金子俊紀さん提供: 川舟にて 昭和25年~昭和28年頃 早道場字川前の姫田川にて)

|| しばたの自然 ||

檜形山脈の楽しみ方

檜形山脈は、胎内川左岸の白鳥山・鳥坂山から加治川支流坂井川右岸の要害山に至る長さ約13キロメートルの日本一小さい山脈です。その檜形山脈の登山口のうち、大峰山周辺の楽しみ方を紹介します。一般的に大峰山へは、桜公園の駐車場から寺沢林道を利用して一本松展望台を経るコースと、願文山経由で登るコースがありますが、貝屋集落上流側から一ノ沢に沿った大瀑・法印瀑コースをお薦めします。

このコースには、ヒノキ林とケヤキ林があります。砂防堰堤を越えて杉林の中を登り、登山道が平坦になる辺りの沢側

川のお風景

坂井川



坂井川は黒川地区から流れ出て、加治大橋付近で加治川と合流します。堤防護岸の内側には草木が繁茂し、自然の景観を感じさせてくれます。最近では護岸工事によって川の蛇行も無くなり、昔ほど景観的には味わいが無くなりましたが、それでも合流地点からべ切橋までは豊かな景観が味わえます。昔の加治川桜堤の風景が美しいのも、川が曲がっているからに他なりません。景観は時代と共に変化しますが、美しい風景は人の心を安らかにさせます。川はふるさとそのものだと思います。



法印瀑

斜面がヒノキ林で、登山道の上側斜面が杉で、下側斜面がケヤキとなっています。ヒノキ林を過ぎ、右下に大瀑の滝音が聞こえると、沢側斜面がケヤキ林となり、ブナの美人林同様、ちよつと太めでもすらすらとしたケヤキが一角を占めています。またコースは花も多く、カタクリ、ヒトリシズカ、エンレイソウ、サンカヨウなどが咲き、大瀑・法印瀑を見ながらの登山が楽しめます。

宝物

みくつけた

天然プール

子どもたちは、川が大好き。子どもたちにとって川は、水の流れ、小石、草木、小魚など、自然がたくさん詰まったテーマパークのようなものなのでしょう。川と言えば、岡田の安全橋の上流にある「天然プール」を知っていますか。ここは新発田市が管理する公認の川の「プール」です。行政が管理する川の水泳場は、全国でも珍しいようで、近年、マスコミでも取り上げられるようになりました。

ここができた歴史は古く、新発田の歴史に詳しい川瀬勝一郎さん(大正12年生まれ、諏訪町在住)の話によれば、明治22年の岡田の瀬替えによって、自然にできたものようです。また、「天然プール」という呼び名も昭和初期に既にそう呼ばれていたそうです。

また学校にプールなどが無かった時代、この「プール」で泳ぎを覚えた子供たちも多かったのではないのでしょうか。「川は危険」「川はきたない」といわれ、子供たちの泳げる川は少なくなっています。この加治川の天然プールは、泳ぎだけでなく、川原での楽しみ方もいろいろ。新発田でも数少ない、自然を満喫できる場所です。

学びの扉

地域の人たちと

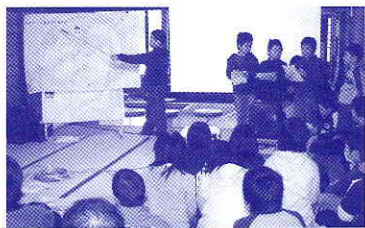
環境について学ぶ 『米倉小学校などが発表』

2月23日(土)、有機の里交流センターを会場に、平成19年度の米倉地区農地・水環境保全向上対策発表会が開催されました。

発表会は3部形式。第1部では米倉小学校の4年生がホタルなどの「生き物調べ」の結果を、5年生が「はさがけの米作り」について発表しました。

第2部は、当会が発表。米倉地区環境保全組織の依頼で実施したホタル水路での生き物調査の結果や、調査をとおして見えて来た米倉地区の自然環境の現状、生態系における物質循環の仕組みなどを紹介しました。

第3部では、ホタル水路に隣接する敷地で生き物の棲家作りを行うことになったため、その整備方法についての話し合いが行われ、様々な生き物が生息できるように水辺だけでなくミニ畑やミニ田んぼを作る、生き物を観察しやすいように池に橋をかけるなど、様々な提案がなされました。



編集後記

先日、五泉市で行われた「誓女唄」の演奏会に行ってきました。

「誓女」は三味線などを弾きながら、歴史物語を語るもので、日本の文化としての価値は高いと思うのですが、残念ながら、誓女唄の継承者は数えるほどしかいません。今回は継承者の一人、金子まゆさんの語りと唄でしたが、「誓女唄」を懐かしんで集まった人も多く、会場は開始30分前から超満員。唄が始まるとその響きにみんな聴き入っていました。

忙しい現代社会において、ゆつくりと何かをするという時間が減ってきています。「時は金なり」とは、「時間は貴重でお金同様の価値がある」というような意味ですが、ゆつくりと過ごす時間は、お金には代えがたいものです。そんなことを感じながら、古い文化にどっぷり浸ったひと時でした。

ぼくのわたしのふるさとには
思い出がいっぱい
ふるさと塾



親子で和風づくり
ふるさと塾では、小学生を中心に、学校の総合学習の支援や、自然環境の保護など、学校の授業では受けられないような自然体験や、野菜の収穫体験などを通して、子ども時代の思い出づくりのお手伝いを行っています。

子ども時代の良い思い出は、優しく、たくましい大人への成長につながると考えています。環境にも他人にも思いやりを持てる子どもたちの成長を願っています。

【お問い合わせ】
TEL 0254-33-2841 携帯 090-7289-9358
E-mail kusigata@amber.plala.or.jp
(ふるさと塾代表 長谷川清)

川と酒と歌のイベント
5月25日、当会主催のまちうら散策が実施され、約40人が参加しました。今回は、散策の後に、フォークソングを楽しむ集いとドッキングという初の試み。午後3時、まずは散策のスタートです。
コースは新発田川をメインテーマに、寺町たまり駅から出発し、福勝寺、新発田川の水辺に咲くあやめ、新発田川を取り込んだ庭をもつ石泉荘、その上流にある金升酒造と更に上流の大堰。
当日は朝からあいにくの雨模様でしたが、出発する頃には雨も止み、説明を聞きながら、普段はなかなか見ることのない「裏道」や新発田の歴史を楽しみました。
特に石泉荘では、雨に洗われ、より鮮やかに変わった苔や木々に包まれた庭を見学。初めて見たという参加者も

者も毎年増えていきます。参加者の多くは「食品が色々信用できない事件がおきているので、自分で作れるものは自分で作りたい」との思いがあるようです。材料こそ地産大豆は調達できなかったのですが、でもしっかりと国産の物を使いました。このあと、暑い夏を越し、秋にはいよいよ手前味噌が出来上がります。乞う、ご期待。
イバラトミヨは？
ふるさと生き物観察会
5月24日(土)に開催された「ふるさと生き物観察会」には地域の方々、新発田市周辺の子も達、新潟大学の学生など約60名が集まりました。
始めに、昨年ため池に設置したエコトーン(生き物にやさしい水域から陸域に変わるなだらかな傾斜)を観察し、その目的や期待される効果などを学習しました。その後、久保集落のイバラトミヨ保全水路と六日町集落内の土水路で生き物調査と観察会を行いました。今回の調査でもたくさんの方々の貴重な動植物が確認できました。
このような活動をとおして、参加者の方々に農村地域の豊かな自然、それを維持する人々の努力を知っていただければ嬉しいですね。
多く、座敷に座ってしばし感嘆と静寂の世界へ。
金升酒造へ到着したのは午後5時。ここからは、「新発田DEフォーク」のかたがたも合流。なつかしい歌と時期限定のおいしい冷酒「春の初花」、そして今回初お目見えの会員創作汁「飯称・加治川鍋」も飛び出し、大いに盛り上がりました。



親子で一緒に味噌づくり



環境豆知識

フード・マイレージ

「フード・マイレージ」は、英国の消費運動家等が提唱した言葉で、生産地から消費国までの距離に着目した「フード・マイルズ」の概念が語源とされています。食料がどれだけの輸送エネルギーをかけて外国から来ているのかを表す指標として「輸入した重さ(ト)×距離(キロ)」で算出します。

日本は食糧自給率が40%を切りました。それだけ食品をあらゆるところから輸入しています。そのためフード・マイレージの値は世界の中で群を抜いて高く、2001年の試算では国民一人当たりで米国の7倍、フランスの4倍、ドイツの3.5倍、英国の2倍となっています。

環境問題や安定的な食糧確保の点からも、これからは国内での地産地消が一層重要視されることとなります。

参考出典：フリー百科事典「ウィキペディア (Wikipedia)」



夏休み大企画、自然いっぱいの加治川で、夏の思い出を作りませんか。
加治川ネット主催で、夏の恒例行事となった水辺の大楽校「ぼくらは加治川探検隊」、今年は生き物調査に加え、ライフジャケットを着て、流れに乗って川を下る加治川のカップパ体験もあります。ぜひ、ご参加ください。

ぼくらは加治川探検隊!
とき：平成20年8月3日(日) 午前9時30分～午後2時
集合場所：新発田市 上岡田地内加治川天然プール
内容：生き物で調べる水質調査、加治川のカップパ体験ほか
対象：小学校3年生以上(保護者同伴)
参加費：一人五〇〇円(保険料ほか)
定員：50人(大人を含む)
その他：昼食は各自用意
申し込み：電話、FAX、メールなどで
7月10日(木)から受付。
加治川ネット事務局へ申し込んでください。
定員になり次第締め切ります。



水辺の大楽校

昨年、当会の10周年事業として小学校「環境学習発表会とパネル展」を開催しましたが、終了後、もっと多くの子どもたちの発表を聞きたいという声がたくさん寄せられたことから、今年も11月開催に向け、発表校と発表パネルを募集しています。募集は5月31日で締め切っています。参加を希望される学校は、加治川ネット事務局にご連絡ください。
対象：新発田市、聖籠町の小学校
内容：生き物、植物、ごみ、自然リサイクル等、環境をテーマとした学習の成果発表、パネル出展

【発表会】
とき：平成20年11月16日(日) 午後1時30分～3時30分
場所：新発田市生涯学習センター講堂(新発田市中央町5丁目8-47)
募集数：5校程度
発表時間：1校あたり10分
発表方法：人数は自由
(OHPやパワーポイントの活用、寸劇、演奏、紙芝居など)
【パネル展】
とき：11月8日から11月16日まで
場所：ジャスコ新発田店で展示するほか、発表会当日は生涯学習センターに展示
募集対象：新発田市、聖籠町の小学校。ただし、一校一展示
内容：活動パネルは各校、大洋紙1枚でお願います。

開催は11月

おいでください!
イベントガイド

〈お申し込み・お問い合わせ〉
NPO法人 加治川ネット21事務局
電話 (0254)31-4111 FAX (0254)31-4088
E-mail kjn21@ml.shibata.ne.jp

小学校の環境学習発表会と
パネル展参加校募集



平成19年環境学習発表会より

主催 NPO法人 加治川ネット21
共催 新発田市、聖籠町、新発田市教育委員会、聖籠町教育委員会
後援 新発田青少年健全育成市民会議、新潟県新発田地域振興局